

「わたしたちの体育」を利用した学習事例（第2学年）

丸亀市立城西小学校 朝賀 優樹

第2学年	単元名	ボールけりゲーム
指導時間	9時間	児童書掲載ページP54～P57

【単元の目標】

- ・ボール蹴りゲームの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、簡単なボール操作と簡単な攻めや守りの動きなどのボールを持たないときの動きによって、コート内で攻守入り交じって、的やゴールに向かってボールを蹴る簡単な規則で行われる易しいゲームをすることができるようにする。
- ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。
- ・ボール蹴りゲームに進んで取り組み、規則を守り、誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

【安全にみんなが運動できるように・・・はじめに約束しよう、確認しよう】

- ・ボールはやコーンなどの用具はみんな準備・片付けをする。
- ・きちんと並んでゲームの始めと終わりの挨拶をする。
- ・相手を蹴らない。
- ・相手をおさない。
- ・ボールを進んで拾う。
- ・応援は並んで座って行う。
- ・友だちのいいところはチーム関係なく認める。

【学習活動 第1時～第9時】

第1時

オリエンテーション

①学習の目標と進め方を知る。

○児童書（P.54～57）を使って、実際の活動も組み込みながら、学習の目標と進め方を説明する。

学しゅうの
目ひょう

○あそび方を 知り 楽しく ボールけりゲームが できるように しよう。

○友だちの よい うごきや せめ方を 見つけて つたえよう。

○きまりを まもって 友だちと なかよく あんぜんに ゲームを しよう。

②用具等の使い方について知る。

○用具等の使い方や設置の仕方を説明する。

ボールの しょうかい

ボールを くふうすると ゲームが もっと 楽しく なるよ。



かるい ボール



スポンジせいボール



ゴムボール



大きい ボール



③きまりや、学習の場、安全面について知る。

○きまりや学習の場、安全面に十分配慮する。

きまり



●はじめと おわりに あいさつを する。



●つかった 用ぐは みんなで かたづける。



●あい手を けらない。



●あい手を おさない。



●ボールを すず んで ひろう。

④「やってみよう」を行う。

○これまでの学習と関連付けながら、ボール蹴りゲームに必要な動きを身に付けることができるようにする。



【当てっこゲーム】

○ねらい

様々な大きさや形の的をねらってボールを蹴ったりねらったところにボールを蹴ったりする動きを身に付ける。



【ダンボールばこくずしゲーム】

○ねらい
 様々な大きさの重ねたダンボールにボールを当て崩す。
 ねらったところにボールを強く蹴る動きを身に付ける。

【すりぬけけりゲーム】

○ねらい
 相手に取られないように反対側のラインにボールを蹴る。
 相手にとられないようにねらったところにボールを強く蹴る動きを身に付ける。
 ※近すぎると危険

【トンネルゲーム】

○ねらい
 二人1組で、ハードルの中を通すようにねらって蹴る。
 ねらったところにボールを蹴る動きを身に付ける。

⑤学習のまとめの仕方を知る。

○「学習のあしあと」の使い方を説明する。

◎ よくできた ○ できた △ がんばろう

学しゅうの あしあと	1	2	3	4	5	6	7	8
楽しく ボールけりゲームが できましたか。								
友だちの よい うごきや せめ方を 見つけて つたえましたか。								
きまりを まもって 友だちと なかよく あそびましたか。								

第2～5時

①めあてを確認する。

○めあてを確認し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

きまりをまもってボールけりゲームをしよう。

②「やってみよう」を行う。

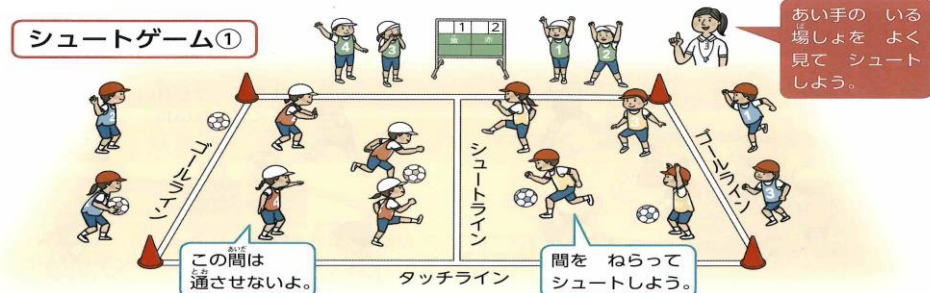
○ボール蹴りゲームに必要な動きを身に付けることができるようにする。

③活動①を行う。

○児童書 (P. 56) を参考に、きまりを守ってボール蹴りゲームを行うことができるようにする。

- ・ゲームのルールについて全体で確認する。
- ・ボールを選択して活動を行う。
- ・人数が一人多くなることよさを生かし、空いている人を見付けたり、パスを出すタイミングを考えたりしながら攻めることができるように助言する。

④気付いたことやできるようになったことを友だちと伝え合う。



- もとに なる ルール
- 人 数…4～5人(1チーム)
 - 時 間…2～3分間
 - とく点…ボールが ゴールラインを こえたら 1点。
 - かちまけ…とく点の 多い チームが かち。
 - ボール…1チーム 2～3こ。

- ゲームの すずめ方
- ①ゴールラインから ボールを けて はじめる。
 - ②シュートラインの 後ろから シュートできる。
 - ③タッチラインから 出た ボールは 出た ラインの上にもどして はじめる。

⑤共有したポイントを意識して、もう一度活動①を行う。

⑥本時のまとめをする。

第6～9時

①めあてを確認する。

シュートゲーム②



もともになるルール

- 人数…4～5人(1チーム)
- 時間…せめとまもりは3分で交たい。
- とく点…ボールがゴールラインをこえたら1点。
- かちまけ…とく点の多いチームがかち。

ゲームのし方

- せめ方** 一人1こずつボールをもちスタートラインから足ではこんでシュートラインの前からシュートする。ボールがラインから出たらスタートラインにもどって始める。
- まもり方** ゴールマンとまもる人を二人ずつきめてシュートをふせぐ。

【ルールの工夫】

- ・シュートを防ぐ際に手で扱うことを認める。
- ・安全ゾーンを設けることで、相手に邪魔されずシュートできるようにする。

○めあてを確認し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

ルールやせめ方をくふうしてボーけりゲームをしよう。

②「やってみよう」を行う。

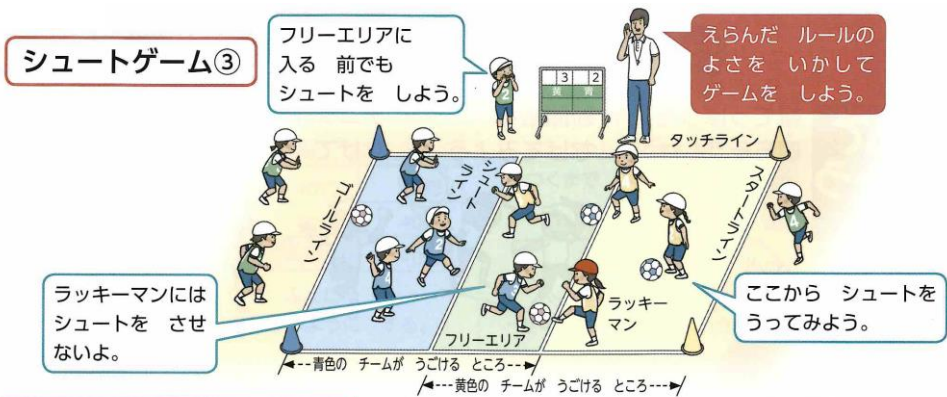
③活動②を行う。

○ボール蹴りゲームに必要な動きを身に付けることができるようにする。

○児童書(P.57)を参考に、ルールや攻め方を工夫してボール蹴りゲームを行うことができるようにする。

- ・活動①で出てきたゲームの楽しみ方や動きのポイントについて確認する。
- ・ルールの工夫についてチームで話し合う。

シュートゲーム③



もともになるルール

- 人数…4～5人(1チーム)
- 時間…せめとまもりは3分で交たい。
- とく点…ボールがゴールラインをこえたら1点。ぜんいんがとく点すると2点。ラッキーマンがとく点すると2点。
- かちまけ…とく点が多いチームがかち。

ゲームのし方

- せめ方** 一人1こずつボールをもちスタートラインから足ではこんでシュートラインの前からシュートする。ボールがラインから出たらスタートラインにもどって始める。
- まもり方** ゴールされないようにコートの外へボールをけり出す。フリーエリアの中だけあい手のボールを直せつけり出してよい。

④うまかったことや課題についてチームで伝え合う。

○うまかったことや課題について、児童書 (P. 57) に記述し、チームで伝え合う。
 ・気付いたことを児童書 (P. 57) に記述し、友だちと伝え合う。
 ・児童書 (P. 57) を参考にしてルールや簡単な作戦を選んで、チームで伝え合う。

つたえよう

チーム	1回目	2回目	合計
自分			
あい手			

⑤攻め方を意識して、再度ゲームを行う。

○作戦がうまくいっているチームを称賛する
【場の工夫】
 ・得点が入りにくいときは、ゴールラインを広げたり、シュートラインを前に出したりする。
【ルールの工夫】
 ・攻める方を一人多くすることで得点しやすくする。

⑥本時 (単元) のまとめをする。

○「学習のあしあと」を参考に単元を振り返り、個人・チームの伸びや頑張りを称賛する。

(◎よくできた ○できた △がんばろう)

学習のあしあと	1	2	3	4	5	6	7	8
楽しくボールけりゲームができましたか。								
友だちのよい動きを見つけてつたえられましたか。								
きまりをまもって友だちとなかよくあそびましたか。								

【評価の観点】

知識及び技能

- ・ボールけりゲームの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。
- ・簡単なボール操作 (投げる、捕るなど) によって、ゲームをして遊ぶことができる。
- ・簡単なボールを持たない動き (ボールが飛んでくるコースに入る、ボールを操作できる位置に動くなど) によって、ゲームをして遊ぶことができる。

思考力、判断力、表現力等

- ・簡単な遊び方を選んでいる。
- ・友だちのよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友だちに伝えている。

主体的に学習に取り組む態度

- ・ボールけりゲームに進んで取り組もうとしている。
- ・順番や規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。
- ・勝敗を受け入れようとしている。
- ・用具等の準備や片付けを、友だちと一緒にしようとしている。
- ・場の安全に気を付けている。

【学習を通しての児童の反応、児童の感想】

児童の反応

- ・攻めでは、守りのいない位置までボールを運んでシュートをしようとする児童が多く見られた。
- ・守りでは、ボールの正面に入ってボールをとめたり、いろいろな蹴り方をしてボールをコートの外に蹴り出したりすることができていた。

児童の感想

- ・きまりを守ってゲームができた。勝っても負けても、みんなで楽しくできてよかった。
- ・守りのいないところでシュートをしたら、ゴールを決めることができた。
- ・たくさんシュートを決めることができて嬉しかった。

【「わたしたちの体育」を活用した学習について】

- ・教師用指導書 P. 102～103 の「展開例」を参考に本単元の学習展開を考えるとともに、54Pのきまりを単元初めに指導することによって、安全・安心な学習を展開することができた。また、55Pの「やってみよう」を行うことによって、苦手な児童もボールけりゲームの楽しさに触れることができた。